

企業・既卒者調査 【2023年度】



企業調査

<u>調査回答者</u>	企業等の採用担当者（本学イベント参加企業） 回答企業数：33社 ※掲載しているグラフは 2022年度調査（n=27）も合算している。
<u>調査方法</u>	オンラインアンケート
<u>調査期間</u>	2024年1月16日 ～ 2024年3月15日
<u>調査目的</u>	①DPの達成度合いに関して企業からの評価を把握し、今後の教育内容改善にあたっての優先・重点事項を明らかにする。
<u>調査課題</u>	・TIU卒業生が就職時に企業から受けている評価（DPで設定した力・姿勢） ・DPで設定した力・姿勢への企業からのニーズ

調査項目

- ✓ アンケートでは、ディプロマポリシーを調査用に分割・変換している（様々な要素を含んだ内容のDPは、回答・分析を明確に行うことが難しいため）。
- ✓ 「自ら思考し、行動する主体性」はDPに含まれないが、就職活動時等に特に求められる要素であるため、ひとつの項目として追加している。

Q No.	調査項目	設問形式
1	企業・団体名	OA
2	TIU卒業生の入社・入職人数	SA
3	業種	SA
4	従業員規模	SA
5	採用時に求める力・姿勢（DP）	MA
6	TIU卒業生に対する評価（DP）	SA
7	TIU卒業生に対する評価（自由記述）	OA

本調査上のディプロマポリシー項目

- DP1 ・社会の仕組みや情勢についての知識
- DP2 ・大学の専攻分野についての知識・能力
- DP3 ・問題解決に必要な情報・データを考え、収集する力
・論理的に問題解決策を導きだして実行する力
- DP4 ・多様な価値観・考えを受容した上で協働する力
・グローバルな視点でものごとを捉え、考える力
・他者の考え・本音をくみ取る力
・相手を尊重しながら自分の意見を主張する力
- DP5 ・社会の課題に関心をもち、貢献する姿勢
- DP6 ・社会の規範・ルールに基づいて行動する倫理観
・定めた目標の達成や、自分の役割を全うする責任感
・リスクを踏まえ、新しいことに挑戦する勇氣
- その他 ・自ら思考し、行動する主体性

結果のまとめ

東京国際大学 ディプロマポリシー

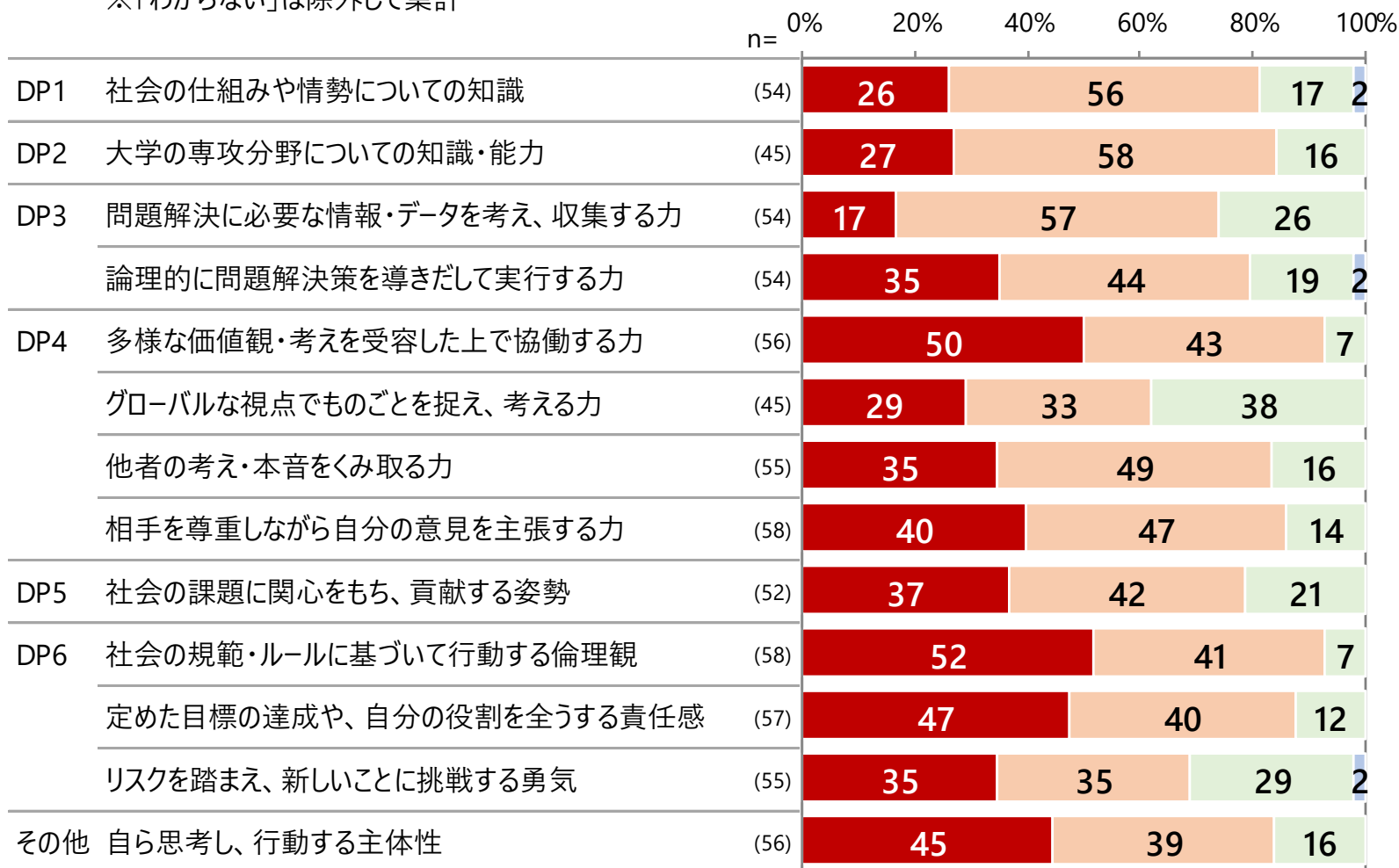
- DP1) 社会人として活躍するための教養を身に付けている
- DP2) 専門分野に関する知識を身に付けている
- DP3) 必要なデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、問題の解決を図ることができる
- DP4) さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる
- DP5) 社会に対する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している
- DP6) 社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる

TIU卒業生に対する評価

Q.新卒として求めるレベルに対し、東京国際大学の卒業生は
以下の力・姿勢がどの程度身につけていましたか。

※「わからない」は除外して集計

■ 十分に身につけていた ■ まあまあ身につけていた
■ 多少は身につけていた ■ 身につけていなかった



TIU卒業生に対する評価（自由記述抜粋）

Q.東京国際大学の卒業生がもつ力・姿勢で「優れている」と感じるものがありましたら、ご自由にお書きください。

- ✓大学においてもグローバルな環境にいたという事もあるかと思いますが、非常に**協調性**が優れていると感じました。
- ✓**コミュニケーション能力**に長けていると感じます。
- ✓**推進力**。高い目標にも沈むことなく**前向きに取り組む姿勢**。
- ✓**誠実さと成長意欲**がある。
- ✓**人に好かれる**第一印象の良さ。
- ✓**聞く力、共感する姿勢**にすぐれていると感じました。
- ✓直近の卒業生の方は、**謙虚さと素直さ**を持ち合わせていた印象です。
- ✓**継続して努力**できる社員が多い印象がございます。
- ✓卒業生全体としては、**前向きで積極的**な姿勢であるところは優れていると思います。
- ✓23年に入社した方は**協調性**が高く、配属先の異なる同期とも交流があり、とても**横のつながりを大切**にしてくださっています。配属先でも同僚と上手くやれているようです。**前向きな姿勢**で業務に取り組んでいます。

既卒者調査

調査対象者

本学卒業生：7名
※在学時の取り組みや成績からロールモデルとして相応しい学生に依頼。

調査方法

インタビュー（1対1）

調査期間

2024年1月23日 ～ 2024年2月22日

調査目的

- ①各DPの修得に寄与する在学中の活動等を明らかにし、**教育内容改善**の参考とする。
- ②TIUウェブサイト上でインタビュー内容を公開し、在学学生や受験生が学ぶ（DPを身につける）上での**ロールモデル**とする。

調査課題

- ・在学中に身につけた力（DP）
- ・DP修得に寄与する在学中の活動

インタビュー内容

- ・入学理由／入学時に期待していたこと
- ・印象に残っている授業や教員
- ・大学時代を通じて身につけた力
- ・どのような経験でそれらの力が身についたか
- ・それらの力は現在の仕事に生かされているか
- ・現在の仕事のやりがいは何か
- ・今の学生へのメッセージ、アドバイス 等

結果のまとめ

東京国際大学 ディプロマポリシー

- DP1) 社会人として活躍するための教養を身に付けている
- DP2) 専門分野に関する知識を身に付けている
- DP3) 必要なデータを収集したうえで、それをもとに論理的に思考し、問題の解決を図ることができる
- DP4) さまざまな文化や価値観等の多様性を受け容れ、グローバルな視点から俯瞰的に考えることができるとともに、他者と協働して、互いにコミュニケーションをとることができる
- DP5) 社会に対する関心と志を高くもち、社会に貢献する態度を有している
- DP6) 社会人としての責任感・倫理観を有し、勇気をもって、新しい可能性にチャレンジできる

DPにつながる経験・活動

ディプロマ・ポリシー

【DP1】社会人としての教養

【DP2】専門分野に関する知識

【DP3】データ収集・論理的思考・問題解決

【DP4】多様性の受容、グローバルな視点、コミュニケーション

【DP5】社会に貢献する態度

【DP6】責任感・倫理観、チャレンジする勇氣

DPにつながる在学中の経験・活動

「ビジネスに関するディスカッションベースの授業の中で、提示された問題に対して解決策を構築し、プレゼンする経験から学んだ。」(Aさん)

「ゼミで参加を勧められたビジネスコンテストの中で、問題解決策を導き出すために、既存の保険会社のサービスに関する情報をとにかく収集した。」(Bさん)

PBL科目のように、問題に対して自分自身で解決策を考え、構築する経験

「留学中の寮生活で、最初は遠慮して何も言えなかったが、相手の考えを聞いた上で、「じゃあこうしていこう」という話をできるようになった。」(Cさん)

「サッカー部のマネージャー活動で選手から相談を受けたり、選手間の橋渡しをしていく中で、コミュニケーション力が身についた。」(Dさん)

異文化の実体験や、他者とコミュニケーションを行い問題を解決した経験

「ビジネスコンテストで社会問題の解決策を考えていく経験が、社会に価値を生み出す姿勢につながった」(Eさん)

実際の社会問題を題材とした学びの経験

「どんなことにも手を挙げて、取り組んでいた。ゼミ長の仕事など、うまくできないこともあったが、反省してチャレンジを続けた」(Fさん)

「商学部の演習大会で答えのない課題にチームで取り組み、勇氣をもってチャレンジして良い結果を得られた」(Gさん)

様々なことに挑戦する経験、答えのわからないことに挑戦する経験